

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	総合実習	科目区分	統合分野	授業の方法	実習
対象学年	3学年	単位(時間)	2 (90)	開講時期	3年後期
担当教員：片倉 貴子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟での看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
《科目目標》 複数患者の情報を収集し、優先順位を考えながらメンバーと協力し計画的に援助することを学ぶ。チーム内でのリーダーシップやメンバーシップ、役割遂行や連携を学ぶ。 複数患者に必要な知識・技術・態度を学ぶ。今まで経験できなかった夜間の患者の療養生活状況と必要な援助について学ぶ。 今までの実習をとおして、自分の看護技術を評価し強化する。					
《成績評価の方法》 実習評価表に基づき評価する。					
《使用教材（教科書）及び参考図書》 系統看護学講座：統合分野 看護の統合と実践〔1〕看護管理 医学書院など					
《授業外における学習方法》 実習する病棟の特徴を理解し、疾患・看護の事前学習を行う					
《履修に当たっての留意点》 チームで取り組む実習であるため、グループでコミュニケーションを密に行い、情報の共有を図っていく。					
実習プログラム					
実習期間	3学年 10月～12月				
時間数	合計 90 時間				
実習内容	1. チームで複数患者を受け持ち、患者の1日の生活リズムを考えながら、病態、治療を踏まえ、看護計画を立案し、計画的に援助ができる。 2. 学生チーム内で役割を果たしながら、看護が実施できる。 1) メンバーとしての役割を理解する。 2) チーム内で連携を取りながら、患者への援助を検討・評価できる。 3. 夜間帯の患者援助の実際を理解する。 1) 夜間の業務と看護の優先度を知る。 2) 夜間の安全面への配慮を知る 3) チーム間や他のスタッフとの連携を知る。 4. 同行看護師の実践から複数患者の看護に必要な知識・技術・態度を学ぶ。 1) 複数患者を把握するための情報とその収集方法や援助の優先順位のつけ方について理解する。 5. 自分の看護技術を評価し、強化する。 6. 実習での学びから自分の考える複数患者への看護実践について述べる。 7. 看護師として望ましい態度を身につける。				